

財政構造改善に向けた取組について

1 財政構造改善の取組

令和4年度普通会計決算において、実質単年度収支が42億円を超える赤字となるなど、赤字基調にあることが一層明らかになりました。この収支不足を補填するため、基金取崩しを続けると、数年後には基金が底をつき、予算編成に大きな支障が生じる事態に陥ることが考えられます。

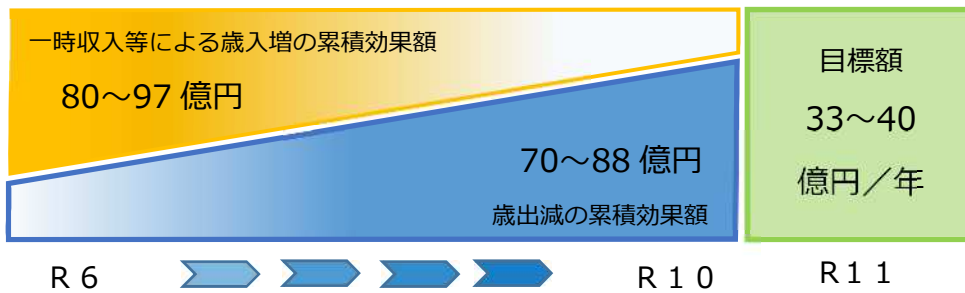
このような事態を回避するため、抜本的な財政構造の改善に早急に取り組む必要があることから、「財政構造改善基本方針」を策定し、取組を進めることとしました。

目 標：収支均衡を保つことを目標とし、単年度で40億円以上の収支改善を目指す。

取組期間：令和6年度から10年度までの5か年とし、令和11年度からの収支均衡を目指す

2 取組の大枠の主な内容（金額は現時点での概数値）

財政構造改善のイメージ



令和6年度中に取組内容を具体化した「財政構造改善実施計画」を策定し、目標額を確実に達成できるよう取組んでまいります。

【歳入増】

取組内容	R6～R10の累積効果額	R11の目標額
市有地の売却、貸付収入の増 等【一時収入】	63～78億円	—
施設使用料等受益者負担の適正化 等【経常収入】	17～19億円	6～8億円

【歳出減】

取組内容	R6～R10の累積効果額	R11の目標額
内部事務改革による経費節減 ・内部事務経費の削減 ・窓口体制の最適化（支所窓口の再編整理等） 等	13～17億円	3～4億円
人件費の抑制 ・給与水準の適正化 ・定員管理計画に基づく人員抑制 等	29～36億円	14～17億円
施策、事務事業の見直しと再構築 ・公立幼稚園、保育所の再編 ・事務事業の見直し 等	26～33億円	9～10億円
施設総量の縮減 等	2億円程度	1億円程度
外郭団体の見直し 等	—	—